

政策シート

(政策名) 子どもが健やかに育つ環境づくり
(予算費目名) 次世代育成費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもを育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行うことで、子育てに対する不安感や負担感を軽減し、子育てがしやすく、子どもが健やかに育つ環境を整える。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	1,529	1,378	1,492	1,979	1,566
決算	1,280	1,280	1,128	1,526	
人件費(A)	42,220	46,020	44,620	44,620	50,880
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	43,500	47,300	45,748	46,146	52,446

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
手紙コンクール応募数(点)	点	3,300	目標	3,300	3,300	3,300	1,000	-
			実績	2,264	3,165	2,304	1,357	-
特定教育・保育施設等への指導・監査訪問率(%)	%	100	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	100	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行うことで、子育てに対する不安感や負担感を軽減し、子育てがしやすく、子どもが健やかに育つ環境を整える。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

＜政策の進捗＞
家庭教育の大切さを認識させるとともに、祖父母と孫の手紙による交流を通じて子育てに対する不安感や負担感を軽減に寄与できた。また、特定教育・保育施設等239施設・事業所に対する指導監査は、計画どおり全て実施した。

＜課題＞
指導監査の実施により、特定教育・保育施設等に対し改善を求めている事項については、改善報告を義務付けており、改善の実施について確認を行うとともに、引き続き適正な運営を指導していく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	家庭教育推進事業					4,799	479	0.2	0.5		0.4
2	次世代育成運営経費					47,647	1,087	5.0	2.2		1.3
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						52,446	1,566	5.2	2.7		1.7

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 家庭教育推進事業

◇事業目的・事業対象

家族の絆や家庭の役割、親子のふれあいについて考えることを通して、家庭教育の重要性についての市民の理解と関心を高め、家庭教育を見直す機会を提供する。

◇事業の概要

【家庭教育講座】

・保育園・市立幼稚園等での家庭教育講座

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S57	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	782	703	661	1,048	479
	決算	706	690	652	953	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	706	690	652	953	479
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		2,380	3,780	3,080	3,500	4,320
人工	正規	0.3	0.5	0.4	0.3	0.2
	再任用(h31)					0.5
	再任用(h26)					
	非常勤	0.1	0.1	0.1	0.5	0.4

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.2	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

保育園・市立幼稚園等での家庭教育講座を実施している点。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
手紙コンクール応募数(点)【H30年度で終了】							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	3,300	3,300	3,300	1,000	-	-	-
実績値	2,264	3,165	2,304	1,357	-	-	-
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
家庭教育講座実施箇所数(箇所)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	-	-	-	-	17	17	17
実績値	-	-	6	11			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
家庭教育講座参加者数(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	-	-	-	-	595	595	595
実績値	-	-	214	483			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【家族の絆やふれあいの重要性に対する市民の理解を深めるための事業】

・家族への手紙コンクール

【家庭教育講座】

・保育園・市立幼稚園等での家庭教育講座

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・家族への手紙コンクールについては、指標としての目標は達成できなかったが、コンクールを通して、家庭教育の大切さを認識させ、家庭教育を実践する機会を提供することができた。

・保育園・市立幼稚園等11か所で家庭教育講座を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

募集告知を、学校を通して行うことが困難になったこと、他の類似の取り組みが行われていることから、平成30年度をもって手紙コンクールを廃止することとした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 保育園・市立幼稚園等での家庭教育講座の実施を継続する。
・ 講座の実施が定着しつつあり、実施希望園が増加傾向にあることを踏まえ、講座の在り方や講座内容の共有化などの方策について検討する。併せて、事業の更なる充実に向けて、業務の委託化等、実施方法について検討する。

事業シート (事業名) 次世代育成運営経費

◇事業目的・事業対象

特定教育・保育施設等を対象に、指導・監査業務を行う。また、次世代育成課における児童福祉一般事務を実施することを目的とする。

◇事業の概要

- 【部内及び他部局との総合調整】
 - ・部の予算、決算等のとりまとめ
 - ・社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催
- 【次世代育成課の一般事務】
- 【指導・監査業務】
 - ・特定教育・保育施設等への指導・監査業務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)	児童福祉法、子ども・子育て支援法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	747	675	831	931	1,087
	決算	574	590	476	573	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	574	590	476	573	1,087
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		39,840	42,240	41,540	41,120	46,560
人工	正規	5.2	5.4	5.3	5.0	5.0
	再任用(h31)		1.0	1.0	1.0	2.2
	再任用(h26)	1.0				
	非常勤	0.3	0.3	0.3	0.9	1.3

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
特定教育・保育施設等への指導・監査訪問率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	100	100	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 【部内及び他部局との総合調整】
- ・部の予算、決算等のとりのまとめ
- ・社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催
- 【次世代育成課の一般事務】
- 【指導・監査業務】
- ・特定教育・保育施設等の指導・監査業務

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・こども家庭部内及び他部局との総合調整や次世代育成課の一般事務について、滞りなく実施した。又、社会福祉審議会児童福祉専門分科会を3回開催し、協議や意見聴取をすることができた。
- ・特定教育・保育施設等239施設・事業所に対して、立ち入りによる指導監査を実施した。また、施設・事業関係者に対する集団指導(全体説明会)を年6回開催した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・関係法令や国通知等に基づき、特定教育・保育施設等に対して、立ち入りによる指導監査を実施した。
- ・特定教育・保育施設等への立ち入りについては、年々対象施設数が増えているが、全ての施設・事業所に対し、年1回以上の立ち入りによる指導監査を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・特定教育・保育施設等への立ち入りについては、年々対象施設数が増えているが、全ての施設・事業所に対し、年1回以上の立ち入りによる指導監査を実施することを原則とする。ただし、人員等の状況に応じて、立ち入りの頻度を調整することも検討する。

政策シート

(政策名) 子どもが健やかに育つ環境づくり

(予算費目名) 子育て支援費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもを育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

少子化や核家族化が進む中、親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを促進する。

◇関連するSDGsのゴール

①貧困	③保健	④教育						
-----	-----	-----	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	433,831	422,415	434,786	507,350	479,163
決算	388,833	379,042	396,990	456,179	
人件費(A)	49,000	49,000	50,400	54,040	58,060
報酬(B)	141	317	317	291	300
年間経費(予算又は決算+A+B)	437,974	428,359	447,707	510,510	537,523

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
子育て支援ひろばの実施数(箇所)	箇所	25	目標	24	24	24	25	25
			実績	24	24	24	25	25
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

少子化や核家族化が進む中、親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを促進する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

市内25か所の子育て支援ひろばで、妊婦や子育て中の親の不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	子育て家庭支援事業	○	○	○		323,048	293,968	3.2	1.0		1.1	
2	発達相談支援事業	○		○		172,483	152,303	2.6			0.6	300
3	子育て支援運営経費(一般諸経費のみ)					1,593	893	0.1				
4	子供の未来応援地域ネットワーク支援事業					38,129	30,429	1.1				
5	子育てワンストップサービス運用事業	○		○		2,270	1,570	0.1				
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						537,523	479,163	7.1	1.0		1.7	300

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 子育て家庭支援事業

◇事業目的・事業対象

子育てに対する親の不安軽減や子どもの健やかな育ちを支援するために、児童とその保護者、妊婦に情報提供や支援を行う場を提供し、地域全体で子育て支援を推進する。

◇事業の概要

【H27-30重点戦略項目No.31】【R1-R4重点戦略項目No.65】

・地域子育て支援拠点事業

子育て支援ひろば25箇所、児童館4箇所

【R1-R4重点戦略項目No.73】

・産後ケア事業

分娩施設退院後から一定の期間、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援

・子育て情報センター管理運営事業

浜松市子育て情報センターの管理運営、ファミリーサポートセンターの運営、子育て情報サイト「ぴっぴ」の運営、父親と母親を対象とした子育て教室の開催

・地域子育て推進事業

中山間地域親子ひろば事業(水窪・龍山・佐久間・春野)、地域つどいのひろば事業

・児童遊園等整備支援事業

・はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H6		一般会計	自治事務(法令義務) 自治事務(その他)	児童福祉法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	303,776	288,296	289,185	330,370	293,968
	決算	262,521	250,430	255,201	281,244	
	国・県支出	153,444	156,109	158,779	164,731	154,737
	市債					
	その他	3,439	4,486	4,010	4,295	44,585
	一般財源	105,638	89,835	92,412	112,218	94,646
一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		25,900	25,900	25,900	25,480	29,080
人工	正規	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2
	再任用(h31)					1.0
	再任用(h26)					
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.7(産後ケア)	⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.2(子育て支援ひろば)	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・産後ケア事業については、生後4か月未満の母子に対し、母親の身体的回復と心理的な安定を促進することにより保健サービスの享受できるようにする。

・子育て支援ひろばについては、児童とその保護者、妊婦のために情報提供や支援を行う場を提供することで、質の高い乳幼児の発達・ケアを提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
世代を越えて集うことができる子育て支援ひろばの設置数(箇所)					-		31	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	24	24	24	25	25	25	25	
実績値	24	24	24	25				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
地域子育て支援拠点延べ利用者数(人/件)					II-1(3)イ		-	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	367,000	383,000	383,000	383,000	383,000	383,000	383,000	
実績値	300,049	309,626	306,577	321,846				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)					II-1(3)ウ		-	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	43.2	45	47	48	50	50	50	
実績値	43.2	39.7	51.6	47.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
多世代交流している子育て支援ひろばの設置割合(%)					-		-	65
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					80	90	100	
実績値				80				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
産後ケア事業利用者数(人)					-		-	73
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					480	550	700	
実績値				46				

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-30重点戦略項目No.31】

- ・地域子育て支援拠点事業
子育て支援ひろば25箇所、児童館4箇所
- ・子育て情報センター管理運営事業
浜松市子育て情報センターの管理運営、ファミリーサポートセンターの運営、子育て情報サイト「ぴっぴ」の運営、父親と母親を対象とした子育て教室の開催
- ・地域子育て推進事業
中山間地域親子ひろば事業(水窪・龍山・佐久間・春野)、地域つどいのひろば事業
- ・児童遊園等整備支援事業
- ・産後ケア事業
- ・はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

子育てに対する親の不安軽減や子どもの健やかな育ちを支援するために、児童とその保護者、妊婦に情報提供や支援を行う場を提供し、地域全体で子育て支援を推進した。

<平成30年度>

- ・地域子育て拠点事業利用者数321,846人
- ・子育て情報サイト「ぴっぴ」訪問者数2,020,204人(6,582,455ページビュー)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

民間委託による子育て支援ひろば事業の効果を検証し、平成30年度から25箇所の子育て支援ひろばを開設した。

子育て支援ひろばの基本内容に加え、地域の実情や利用者のニーズなどに応じて、様々な加算事業を実施することにより、きめ細やかな支援を行うことができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・子育て支援拠点事業については、地域の実情に応じて支援内容を検討していく。

・妊娠・出産・子育てに係る妊産婦等の不安や負担軽減を目的に、産後ケア事業・はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)を実施し、継続して妊娠期から子育て支援期にわたる切れ目ない支援を行うことで、子育て家庭に対するきめ細やかな支援を実施していく。

・産後ケア事業では、市民のニーズに合った支援メニューを拡充し、切れ目のない支援を継続していく。

補助シート (事業名) 子育て家庭支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
65	多世代交流している子育て支援ひろば事業(20か所)実施。	多世代交流している子育て支援ひろば事業(20か所)実施。 債務負担行為によりR3～R5の事業者選定契約更新の際箇所数の増を検討(多世代交流センターでの新たな子育て支援ひろばを含む)	多世代交流している子育て支援ひろば事業(23か所)実施。(多世代交流センターでの新たな子育て支援ひろばを含む)	多世代交流している子育て支援ひろば事業(23か所)実施。(多世代交流センターでの新たな子育て支援ひろばを含む)
73	産後ケア事業拡充従来の「宿泊型」、「デイサービス型(1日)」に加え、「デイサービス型(短時間)」、「訪問型」を導入	継続実施	継続実施	継続実施

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
31	子育て支援ひろば24箇所開設。	子育て支援ひろばを24箇所開設。	子育て支援ひろばを24箇所開設。	子育て支援ひろばを25箇所開設。

事業シート (事業名) 発達相談支援事業

◇事業目的・事業対象

乳幼児期から就学、成人期に至るまでの発達障がいのある子どもの相談支援体制を整備し、自立した社会生活が送れるようにする。また、発達障がいの疑いのある子どもとその保護者が、早期療育を経験する中で、子どもにとって適切な働きかけができるよう支援する。

◇事業の概要

- 発達障害者支援センター運営事業
浜松市発達相談支援センター「ルピロ」の運営
- 発達障害者支援人材育成事業
保育園・幼稚園等に通う発達障がい(疑い)のある子どもを適切な支援に結びつけるために園職員を育成
- 発達支援広場事業
発達支援広場10会場の運営
- 発達障害者支援体制整備事業
発達障害児者の支援体制の整備、子育てサポートファイルの作成
- はますくQ&Aサイトの運用
- かかりつけ医発達障害対応力向上研修の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20		一般会計	自治事務(法令義務)	発達障害者支援法	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	128,904	133,008	132,762	151,064	152,303
	決算	125,456	127,589	130,105	149,670	
	国・県支出	21,097	20,768	23,865	26,461	29,035
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	104,359	106,821	106,240	123,209	123,268
人件費(報酬等) (千円)		141	317	317	291	300
人件費 (千円)		22,400	22,400	22,400	19,880	19,880
人工	正規	3.2	3.2	3.2	2.6	2.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤				0.6	0.6

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.4 3.5 3.7(はますくQ&Aサイト)	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- 非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進させる。
- はますくQ&Aサイトにより、出産直後の産婦の不安に対し、情報を提供することにより、保健サービスを楽しむことができるようにする。
- 家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画及び保健サービスをすべての人々が利用できる

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
発達支援広場会場数(会場)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	10	10	10	10	10	10	10	
実績値	10	10	10	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					II-1(3)ウ		-	
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	43.2	45	47	48	50	50	50	
実績値	43.2	39.7	51.6	47.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・発達障害者支援センター運営事業
浜松市発達相談支援センター「ルピロ」の運営
- ・発達障害者支援人材育成事業
保育園・幼稚園等に通う発達障がい(疑い)のある子どもを適切な支援に結びつけるために園職員を育成
- ・発達支援広場事業
発達支援広場10会場の運営
- ・発達障害者支援体制整備事業
発達障害児者の支援体制の整備、子育てサポートファイルの作成
- ・ははますくQ&Aサイト運用
- ・かかりつけ医発達障害対応力向上研修の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・ルピロでは、乳幼児期から成人期に至るまで、ライフステージに応じた相談援助を行っており、発達障がいに関する相談対応件数は、昨年度よりも増加している。また、必要に応じ関係機関と調整を行い、適切な支援に結びつけることができている。 <平成30年度>相談件数 延 5,214件
- ・発達支援広場では、発達障がいの疑いのある子どもとその保護者に対し、早期療育的なアプローチを経験させることで、適切な親子の関わり方を習得させることができた。また、継続的な療育が必要な子どもは、児童発達支援事業等に結び付けることができた。しかし、1.6か月健診事後、必要な時期に参加ができていない状況がある。 <平成30年度> 参加人数 延 8,951人
- ・育児支援サイト「ははますくQ&A」を展開し、子育ての悩みや不安を緩和を促進した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・発達支援広場の待機状況について、現状等把握している。
- ・子育てサポートファイルについては、子育て支援ひろば、母親学級、発達支援広場、健診等で活用できるように促しているが、まだ活用が十分ではない状況。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・就労支援等を含めた発達障害者に対する切れ目ない支援の実施をすること、相談件数及び需要が年々増加するなか相談待機時間の短縮を図り、必要な人に支援が届くよう、ルピロの体制を整備する。
- ・発達支援広場に参加すべき発達障がいのある子どもが、適切な時期に対応できるように改善する。
- ・子育てサポートファイルをより活用できるための検討やそれにおける利用方法を周知する。
- ・「はますくQ&A」の定期的な更新をし、サイトの周知と活用促進を図ることで、子育て中の不安の軽減につなげることを目指す。

事業シート (事業名) 子育て支援運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,151	1,111	1,091	893	893
	決算	856	1,023	780	771	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	856	1,023	780	771	893
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 子供の未来応援地域ネットワーク支援事業

◇事業目的・事業対象

貧困等による親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、行政や支援団体が連携して支援を行うためのネットワークを構築するとともに、経済的困難を抱える家庭の児童に対し学習支援を実施することで、学習や進学に対する意欲を高める。

◇事業の概要

- ・子供の貧困対策コーディネーター事業
 貧困状態にある子どもや家庭に対する支援を行うための行政や支援団体の関係構築を目的とするコーディネーターの設置
- ・学習支援事業
 ひとり親家庭や生活保護受給世帯の児童を対象とした学習支援事業の実施(実施か所12箇所)
 ※ひとり親家庭に対する学習支援事業について、ひとり親家庭等支援事業から組替(2箇所)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29		一般会計	自治事務(その他)	子どもの貧困対策の推進に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算			10,020	23,338	30,429
	決算			10,018	22,939	
	国・県支出			5,008	9,683	12,889
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金			5,010	13,256	17,540
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)				700	7,700	7,700
人工	正規			0.1	1.1	1.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困	○ 1.2	⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.2 4.3 4.5 4.6	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

あらゆる貧困状態にある全ての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。
 全ての子どもが男女の区別なく初等教育を受ける準備が整うようにする
 ひとり親家庭や生活困窮世帯など経済的困難を抱える家庭の児童に対し、義務教育期からの学習支援を実施することにより、貧困の連鎖を断ち切ること、質の高い高等教育へ平等にアクセスできるようにする。
 ・貧困対策コーディネーター事業により支援団体や企業を結びつけ、貧困層への十分な保護を達成する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
学習支援事業の実施箇所								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値			5	12	17	22	22	
実績値			5	12				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・子供の貧困対策コーディネーター事業
貧困状態にある子どもや家庭に対する支援を行うための行政や支援団体の関係構築を目的とするコーディネーターの設置
- ・学習支援事業
ひとり親家庭や生活保護受給世帯の児童を対象とした学習支援事業の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づき、貧困状態にある子どもや家庭への支援事業を展開した。
- ・子どもの貧困対策の地域連携の中心的役割を果たす「こどもの貧困対策コーディネーター」が連絡会議や研修会を開催するとともに、学習支援事業の調整・運営・周知等を実施した。
- ・ひとり親家庭や生活保護受給者世帯など経済的に困窮する世帯の児童を対象とした学習支援事業を実施した。

<平成30年度> 定員枠を5会場125人増やし、12会場310人に拡充

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・地域の支援団体等の社会資源の把握をし、行政や支援団体の関係者間のネットワークの構築を図った。
- ・ひとり親家庭や生活保護世帯など経済的困難を抱える家庭等の子どもに対し、義務教育期からの学習支援を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ひとり親家庭や生活保護世帯など経済的困難を抱える家庭等の子どもに対し、地域のなかで必要な支援が行き届くよう、学習支援の実施場所を増やし、体制を整備していく。
- ・学習支援の実施状況を検証し、今後の実施に向けて、実施場所や内容等を検討し、効果的な事業展開を行う。
- ・行政や支援団体の関係者間のネットワークの強化をし、地域で子どもを支える体制づくりを目指す。
- ・支援団体の育成、活性化等、地域の支援団体の発掘や育成を行う。

事業シート (事業名) 子育てワンストップサービス運用事業

◇事業目的・事業対象

子育て関連の申請手続き等について、オンラインで手続きを行うことができる電子申請のサービスの実施に要する経費
 子育てワンストップサービスによる「児童手当」「保育」分野の電子申請のため、市がLGWAN-ASP回線の利用契約を行うことにより、子育て世帯の負担軽減を達成する。

◇事業の概要

「児童手当」「保育」分野において、オンラインで手続きを行うことができる電子申請等のサービスを実施する。
 (対象事務手続き)
 ・「児童手当」
 児童手当の受給資格及び額についての認定の請求、児童手当の額の改定の請求及び届出、受給事由消滅の届出、未支払の児童手当の請求、児童手当に係る寄付の申し出/寄付変更等の申し出、児童手当の現況届(計6種類)
 ・「保育」
 支給認定申請書、保育施設等利用申込書(計2種類)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29		一般会計	法定受託事務	児童手当法 子ども・子育て支援法	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算			1,728	1,685	1,570
	決算			886	1,555	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源			886	1,555	1,570
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)				700	280	700
人工	正規			0.1		0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤				0.1	

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.2、1.3、1.4	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

貧困層及び脆弱層をはじめ、全ての男性及び女性が基礎的サービスへのアクセスが可能となる。
 最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策
 あらゆる次元の貧困状態にある全ての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					II-1(3)ウ		H27~H30	R1~R4
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	43.2	45	47	48	50	50	50	
実績値	43.2	39.7	51.6	47.3				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

「児童手当」「保育」分野において、オンラインで手続きを行うことができる電子申請等のサービスを実施。
 (対象事務手続き)

- ・「児童手当」
 児童手当の受給資格及び額についての認定の請求、児童手当の額の改定の請求及び届出、受給事由消滅の届出、未支払の児童手当の請求、児童手当に係る寄付の申し出/寄付変更等の申し出、児童手当の現況届(計6種類)
- ・「保育」
 支給認定申請書、保育施設等利用申込書(計2種類)

・事業の成果と課題

指標の達成度

<平成30年度> 電子申請257件(児童手当 249件 保育8件)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・児童手当分野と保育分野で合わせて257件の申請があった。
- ・平日に区役所へ手続きに来ることが難しい方へ、電子申請の案内をすることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

子育て世帯の負担軽減のため、引き続き、電子申請等のサービスを実施するとともに、電子申請の利用について周知を図っていく。

政策シート

(政策名) 子どもが健やかに育つ環境づくり

(予算費目名) 家庭福祉費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもを育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

安心と喜びをもって子育てができる社会の実現を目指し、子育て支援策を推進する。

◇関連するSDGsのゴール

①貧困	③保健	⑩不平等	⑫生産・消費					
-----	-----	------	--------	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	16,884,256	16,958,979	16,431,760	16,118,748	16,175,884
決算	16,474,199	16,626,251	16,165,557	15,909,891	
人件費(A)	40,320	40,320	36,120	44,940	51,240
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	16,514,519	16,666,571	16,201,677	15,954,831	16,227,124

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
乳幼児医療費助成件数(件)	件	650,000	目標	772,000	775,000	762,000	759,967	729,765
			実績	755,146	763,317	753,077	740,559	
小・中学生医療費助成件数(件)	件	565,000	目標	671,000	733,000	737,000	726,404	708,020
			実績	700,697	716,279	704,047	700,265	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

安心と喜びをもって子育てができる社会の実現を目指し、子育て支援策を推進する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

【乳幼児医療費助成事業、小・中学生医療費助成事業】

医療費助成に係る支払事務、その他事務の総括を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。

【児童手当支給事業】

手当に係る新規認定及び受給継続者への案内、手当の支払事務、その他の事務の総括を行い、子育て家庭を支援した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	家庭福祉支援事業	○	○	○		16,138,653	16,091,613	6.2			1.3	
2	児童福祉システム運用事業					64,871	61,371	0.5				
3	交通遺児等基金積立金	○		○		10,000	10,000					
4	プレミアム付商品券事業					13,600	12,900	0.1				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						16,227,124	16,175,884	6.8			1.3	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 家庭福祉支援事業

◇事業目的・事業対象

児童手当等の支給や医療費助成により保護者の経済的負担を軽減し、子どもを心身ともに健康に育てることを目的とする。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.95】(新規)高校生世代医療費助成事業
市内の18歳到達の年度末までの入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円*時間外診療、夜間救急、休日当番医の日を含む休診日の診療は助成対象外)

・乳幼児医療費助成事業
0歳から就学前までの児童の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円)

・小・中学生医療費助成事業
市内の小・中学生の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円*時間外診療、夜間救急、休日当番医の日を含む休診日の診療は助成対象外)

・児童手当支給事業
中学校修了前の児童を養育する者に対し児童手当を支給
支給月額 3歳未満 一律1万5千円 3歳~小学校修了前 第1子、第2子:1万円 第3子以降:1万5千円
中学生 一律1万円 所得制限以上 一律5千円(特例給付)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49		一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)	児童手当法等	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	16,823,772	16,659,868	16,368,234	16,057,533	16,091,613
	決算	16,426,484	16,339,624	16,109,090	15,858,132	
	国・県支出	11,766,717	11,667,899	11,539,513	11,311,411	11,346,502
	市債					
	その他					
	一般財源	4,659,767	4,671,725	4,569,577	4,546,721	4,745,111
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		35,420	35,420	34,720	40,040	47,040
人工	正規	4.5	4.5	4.4	5.2	6.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.2(医療費助成、児童手当)	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 3.2 3.4(医療費助成)	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・医療費を助成することにより、貧困層の経済的負担を軽減するとともに、精神保健及び福祉の向上を図る。
・児童手当の支給により子育て世代の経済的負担を軽減する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
乳幼児医療費助成件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値	772,000	775,000	762,000	759,967	729,765			650,000
実績値	755,146	763,317	753,077	740,559				
小・中学生医療費助成件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値	671,000	733,000	737,000	726,404	708,020			565,000
実績値	700,697	716,279	704,047	700,265				
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値	43.2	45	47	48	50	50		50
実績値	43.2	39.7	51.6	47.3				
高校生世代医療費助成の実施								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値					実施	実施		実施
実績値				R1新規事業				
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・乳幼児医療費助成事業
0歳から就学前までの児童の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円)
- ・小・中学生医療費助成事業
市内の小・中学生の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円*時間外診療、夜間救急、休日当番医の日を含む休診日の診療は助成対象外)
- ・児童手当支給事業
中学校修了前の児童を養育する者に対し児童手当を支給
支給月額 3歳未満 一律1万5千円 3歳~小学校修了前 第1子、第2子:1万円 第3子以降:1万5千円
中学生 一律1万円
所得制限以上 一律5千円(特例給付)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【乳幼児医療費助成事業】<平成30年度>助成件数740,559件

未就学児の入院・通院医療費(保険診療に係る医療費の自己負担分)について助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見、早期治療による重篤化の防止及び慢性化予防など乳幼児の健康に寄与した。

【小・中学生医療費助成事業】<平成30年度>助成件数700,265件

小・中学生の入院・通院医療費(保険診療に係る医療費の自己負担分)について助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見、早期治療による重篤化の防止及び慢性化予防など小・中学生の健康に寄与した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

【乳幼児医療費助成・小・中学生医療費助成事業】

未就学児及び小・中学生の入院・通院医療費(保険診療に係る医療費の自己負担分)について助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見、早期治療による重篤化の防止及び慢性化予防など乳幼児及び小・中学生の健康に寄与した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

【乳幼児医療費助成・小・中学生医療費助成事業】

令和元年10月から助成対象を高校生世代まで拡大する。

高額療養費の調整事務の負担軽減のため、引き続き、併用レセプトの導入についても検討していく。

補助シート (事業名) 家庭福祉支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
95	市内の18歳到達の年度末までの入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成 (R1.10月診療分～)	継続実施	継続実施	継続実施
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 児童福祉システム運用事業

◇事業目的・事業対象

平成29年2月末に運用開始した児童福祉システムの運用保守及び機器等の賃貸借を行い、円滑な児童福祉システムの運用を達成する。

◇事業の概要

児童福祉システム運用保守及び機器等の賃貸借

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	R3	一般会計	自治事務(その他)	番号法等	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	50,484	289,111	53,526	51,215	61,371
	決算	43,826	280,302	53,526	48,625	
	国・県支出	16,505	18,575			
	市債					
	その他					
	一般財源	27,321	261,727	53,526	48,625	61,371
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		4,900	4,900	1,400	4,900	3,500
人工	正規	0.7	0.7	0.2	0.7	0.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.3	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

番号法に基づくシステム連携等により、最低限の基準を含む適切な社会保障制度及び対策を提供する

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

児童福祉システム運用保守及び機器等の賃貸借

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り進捗中。

番号制度対応、ホストシステム廃止によるシステム再構築および改修が完了し、稼働中。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 番号法に基づく他市町村等との情報連携を継続中

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 番号法に基づく令和元年6月のデータ標準レイアウトの改正対応、年金情報との情報連携に向けた対応を実施する。

・ 児童扶養手当における制度改正に伴うシステム改修を実施する。

事業シート (事業名) 交通遺児等基金積立金

◇事業目的・事業対象

交通遺児等の福祉の向上を願って寄せられる篤志家からの寄付金を活用し、交通遺児等の福祉の向上を図る。

◇事業の概要

交通遺児に対する寄付金を、交通遺児等福祉事業基金へ積み立てる。
積み立てた基金の運用収入を財源にして、交通遺児等福祉手当支給事業を実施し、交通遺児等を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
.		一般会計	自治事務(その他)	浜松市交通遺児等福祉事業基金に関する条例	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	決算	3,889	6,325	2,941	3,134	
	国・県支出					
	市債					
	その他	3,889	6,325	2,941	3,134	10,000
	一般財源					
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)						
人工	正規					
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.3	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

あらゆる次元の貧困状態にあるすべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					II-1(3)ウ		H27~H30	R1~R4
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	43.2	45	47	48	50	50	50	
実績値	43.2	39.7	51.6	47.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

篤志家からの寄付金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ積み立てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

交通遺児に対する寄付金を、交通遺児等福祉事業基金へ積み立てた。

積み立てた基金の運用収入を財源にして、交通遺児等福祉手当支給事業を実施し、交通遺児等を支援した。

<平成30年度>

寄附額 3,133,905円(寄附件数:16件)

積立額 300,515,328円

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

篤志家からの寄付金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ積み立てた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

寄附をいただいた篤志家の厚意を尊重し、継続する。
令和元年度から、基金の運用収入を市民の交通安全に資する事業に充当する。
交通遺児等福祉手当は基金の取崩により、継続する。

事業シート (事業名) プレミアム付商品券事業

◇事業目的・事業対象

平成30年10月の消費税率の引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として低所得者・子育て世帯向けにプレミアム付商品券を発行する。

◇事業の概要

- (1) 対象者
3歳未満児子育て世帯主(対象となる児童数見込 21,000人)
令和元年6月1日時点の住民のうち、平成28年4月2日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主
- (2) 販売期間 令和元年10月1日から令和2年2月29日まで
- (3) 利用期間 令和元年10月1日から令和2年3月31日まで

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
R1	R1	一般会計	法定受託事務		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算					12,900
	決算					
	国・県支出					12,900
	市債					
	その他					
一般財源						
一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)						700
人工	正規					0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.3	⑩ 不平等	○ 10.4
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策
- ・税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成
- ・雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工